

乳癌の術前化学療法の画像検査による効果判定の検討に関する 研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025年 5月 29日 ～ 2027年 12月 31日

〔研究課題〕

乳癌の術前化学療法の画像検査による効果判定の検討

〔研究目的〕

乳癌における、術前化学療法は病理学的完全奏効（pCR）症例における予後が良好であることや、術前化学療法の効果に応じて、より適切な術後薬物療法を選択できることが示されています。術前化学療法の重要性が増すとともに、画像検査による効果判定もより重要となります。

〔研究意義〕

乳房超音波検査、乳房造影MRI検査、FDG-PET/CT検査によるpCRの予測や、化学療法を2コース施行後の早期に画像検査で判定することで進行（PD）症例の拾い上げや、早期での治療効果と最終的な治療効果との関係を明らかにします。効果判定によって化学療法のレジメンの変更や、手術時の切除範囲の縮小による整容性の改善につながる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2020年2月から2024年10月までの期間に帝京大学医学部附属病院で乳癌に対して術前化学療法を施行した乳癌の患者さんを対象とします。診療録（触診所見、マンモグラフィー、US、PET-CT、CT、MRI、組織型、核グレード、腫瘍径、リンパ節転移、Ki-67、ER、PgR、HER2）を参照し臨床病理学的因子と術前化学療法の効果判定と予後との相関について、後方視的に解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、情報の加工を行います。研究終了時に情報を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 池田達彦 職名 帝京大学医学部 外科学講座 講師
所属： 帝京大学医学部 外科学講座／帝京大学医学部附属病院 外科
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）